

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	りんくうプレミアム・アウトレット第5期	階数	地上3F
建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来南	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2020年6月29日
敷地面積	45,658 m ²	作成者	三菱地所設計
建築面積	9,188 m ²	確認日	2020年6月29日
延床面積	15,140 m ²	確認者	三菱地所設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
大阪府における商業地域として、持続可能な社会に配慮した建築計画とする。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
建物外皮の熱負荷を抑え、優れた外皮性能を達成する。良好な空気環境を保つ計画とする。	更新必要間隔の優れた内装材・配管材を使用し、建物の長寿命化を図る。	敷地内の広域な植生により、緑のある良好な景観を形成する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物外皮の熱負荷を抑え、優れた外皮性能を達成する。	躯体から仕上げ材の分別を容易化し、解体時の資源再利用に配慮する。	0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版
大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-変-0011

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	りんくうプレミアム・アウトレット第5期 新築					
	建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来南					
	用途/区分	物販店 飲食店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	
【評価項目】							
	項目	評価内容				スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3
②	みどり・ヒートアイランド対策						
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.7	4
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.6	3
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない
その他							
		技術の名称			考慮事項		
	先進的技術の導入						
	特に配慮した事項						